



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <https://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/2024年1月1日

祝 2024年春 JR青森駅東口ビル 開業



提供：J R東日本

新年あけましておめでとございます。



理事長

柳谷 章二

2024年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。
昨年を振り返ると、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻が長期化していることに加え、2023年10月にパレスチナのイスラム組織ハマスによるイスラエルへのテロ攻撃により、世界情勢は一段と緊張感が高まりました。国内経済では、新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられ、行動制限がなくなったことから観光客が大幅に増えるなど社会経済活動が活発化していますが、物価高騰による消費の不振などもあり、引き続き、予断を許さない状況が続いています。

このような状況のもと、当組合の最重要課題であります団地再整備事業では、倒産が2社発生したものの、既存組合員の土地追加取得によりマダガスカル問屋町店が9月にオープンし、組合員従業員だけではなく青森市南部地区の地域住民にとっても大きく利便性が向上し、新たな賑わいが創出されました。インフラ再整備事業では、特別委員会及びワーキング委員会での協議を進め、問屋町地区枝線道路南北ラインの街路樹伐採案を中心に具体的な整備計画のとりまとめを行っています。新型コロナウイルスにより中止していた夏の人気イベント「問屋町納涼パーティー」が4年ぶりに復活し、300名を超える従業員のみならずご参加いただくなど、労務対策事業の充実も図りました。

新たな取り組みでは、乾電池共同回収の実験事業に取り組み、初回収日となった9月には43社から250kgもの乾電池が回収されました。災害対策では、大規模地震等が発生した際の連絡手段や問屋町周辺の避難所をまとめた「問屋町災害時連絡ガイド」を作成し、全組合員に配付することで防災に対する意識啓発を行いました。

SDGs推進事業では、遊びながらSDGsを学ぶカードゲーム研修を実施したほか、SDGsへの関心を高めるために標語コンクールを開催しました。69名から123件の応募をいただき、厳正な審査の結果、最優秀賞には「多様性 認めて伸ばそう 可能性」が選ばれました。

さて本年の当組合は、最重要課題である団地再整備事業を着実に推進しつつ、コロナ禍からしつかり立ち直り、そして成長軌道に乗れるように組合員に対するサポートの充実を図ってまいります。

本年が、組合員の更なる発展と飛躍の一年となりますことを心から祈念申し上げます。

第 8 回 理 事 会

12月19日(火)に第8回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは青森交通安全協会問屋町支部が作成した記念誌「50年のあゆみ」について報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、問屋町ビジネススクールの運営委員会からの意見について

2024年度のカリキュラムが承認された。

案件二、賃貸組合員の倒産処理について

組 合 員 昼 食 会

組合員昼食会が12月7日(木)

会 員 交 流 会 や 視 察 研 修 会 を 実 施
青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会が、忘年会を兼ねた第36回会員交流会を11月17日(金)にアートルホテルで開催し、同会会員ら28名が参加した。

交流会では、(有)丸山銃砲火薬店の丸山専務を講師に招き、浅虫温泉に新しくできたクラフトビール醸造所「螢火醸造」について特別講演会を実施。その後行われた懇親会では、はじめにダイエツトグランプリ2023のファイナル測定と表彰式が行われた。余興ではペットボトルフリックに挑戦。悪戦苦闘する中、成功者が出るたびに会場は大いに盛り上がった。

に問屋町会館2階大会議室で開催され、組合員従業員ら52名が参加した。

はじめに、青森市健康づくり推進課の猪股保健師がロコモティブシンドローム(ロコモ)予防について紹介した。ロコモとは、骨、関節、筋肉、神経などの運動器が加齢などの原因で衰え、立つ・歩くなどの移動機能が低下する状態をいう。ロコモを予防するには、運動器に適度な運動や生活の刺激を与えること、また、肥満ややせ過ぎもロコモにつながるため適正体重を維持することやバランスの良い食事を摂ることを勧めた。

次に、(公財)21あおもり産業総合支援センターの田澤事務局次長兼総合支援課長が同センターが行う支援メニューを紹介した。同センターは

また同会では11月7日(火)から8日(水)までの2日間、青森県むつ市方面への視察研修会を実施した。会員ら8名が参加し、(株)東京堂や海上自衛隊大湊地方隊、(有)サンマモルワイナリーなどを視察した。(株)東京堂は同会会員の(株)ヒダチの関連企業で、むつ市に



ペットボトルフリップに挑戦



視察先の(株)東京堂



組合員昼食会

産学官金の支援機関とともに県内中小企業へ事業活動に関する相談対応や助言支援を行っている。DX・デジタル化支援、再生計画の策定支援をする中小企業再生支援、事業承継・引継ぎ支援など多くの中小企業が抱える課題に即したメニューも用意されている。

つづいて、組合員のグッドフーズ(有)の遠藤常務が11月に第二問屋町にオープンした「焼きそばTeppan(テッパン)」について紹介した。同社は本業の幼稚園給食事業など培ったノウハウを生かした店をオープン。テイクアウト専門で日替り弁当やおにぎりも提供する。営業は平日10時30分から13時まで。最後に事務局からQOL健康などについて案内した。

業 務 報 告

… 主要事項 …

12月
1日▽第47回問屋町ボウリング大会(2日目)
▽問屋町納税貯蓄組合第53回定例会

6日▽第47回問屋町ボウリング大会表彰式
7日▽組合員昼食会
▽国内経済視察会反省会
12日▽問屋町SDGs標語コンクール表彰式
13日▽第5回問屋町100日ウォーキング表彰式
15日▽金融審査会
18日▽第1回ビジネススクール運営委員会
19日▽第8回理事会
22日▽問屋町支店長・所長連絡会第33回親睦交流会

… 問屋町
ビジネススクール …

8日▽「人づくり」から始める組織経営
14日▽会計・経理の基礎の基礎

商 団 連 事 務 局 職 員 研 修 会

商団連(全国卸商業団地協同組合連合会)に加盟している卸団地の組合事務局職員を対象とした研修会が、第1回は11月29日(水)にオンラインで開催され全国から46名が参加。第2回は12月1日(金)に東京で開催され、18団地から22名が参加した。

第1回研修会では、全国中小企業団体中央会の菱沼政策推進部長が「定款自治と組合運営」について説明。つづいて(協)仙台卸商センターの高橋専務理事が「組合事務局の情報化推進計画」をテーマに、同団地事務局が進めている事例を紹介した。

第2回研修会では、(協)熊谷



団地職員研修会

謹 賀 新 年

旧年中は格別のお引き立てをたまわり厚くお礼申しあげます。
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申しあげます。

青森問屋町配送(株)

代表取締役 柳谷 章二

専務取締役 赤坂 晃

青森卸センター(株)

取締役社長 柳谷 章二

新年のメッセージ

協青森総合卸センター事務局職員



専務理事
青森間屋町配送係専務取締役
赤坂 晃

昨年は、コロナが5類となり普段の賑わいを取り戻した感がありました。私も4年ぶりに孫を連れて大曲花火大会に行き楽しみました。今年はパリオリンピックです。一緒に盛り上がりましょう。



事務局長
小田切 勇治

2022年6月から妻が畑で見つけた子猫を飼い始めました。とてもやんちゃなお嬢様で、いつも予想の上をいく行動をするので楽しいです。機嫌がいいと膝の上に乗ってくれます。可愛いなあ。今年も縁J OYします！



業務部長
西田 一実

2024年は甲辰(きのえたつ)。急速な成長と変化を誘う年になること。

50を迎え体の衰えが顕著ですが、まだまだ成長し続け変化を遂げるため、今年は自分自身を鍛え直す1年にしたいと思います。



総務部長
成田 賀子

今年。。自由奔放な息子が年

男(反抗期上等)。小学校の周年事業でPTA活動繁忙期。健康に気を使いほんの少しタイエットとゴルフ。キャンプに畑仕事に親孝行。オリンピック観戦。新紙幣発行万歳。盛り沢山だけ大丈夫！



業務課長
五十嵐 敦

昨年2月に誕生した双子兄弟はすくすくと成長。慌しい毎日ですが、「双子ちゃん元気？」と声をかけてくれる皆さんの励ましと支えてくれる職場に感謝です。今年は双子を連れ実家がある山形に帰省することが目標です！



総務部主幹
田中 静香

昨年は『THE FIRM』を観て、愛蔵版を読破し、ワールドカップをリアルタイムで、バスケットにハマった一年でした。

今年は何に夢中になるのでしょうか。組合員の皆様の益々のご活躍をお祈り申しあげます。



総務部主幹
鎌田 綾野

昨年は1月に第三子を出産し、育児に追われながらも年子3人を連れての東京旅行や長女とのデイズ二旅行、4年ぶりに行われたバ

レーボールの県民大会出場など充実した年でした。今年も年女！出来ることを全力で楽しみます！



総務部主査
春山 心仁

昨年は7月に業務部から総務部へ異動となり、新しい仕事への挑戦の1年でした。まだまだ不慣れなことばかりですが、趣味の温泉巡りで体を癒しつつ、本年も頑張つて参ります。



総務部主査
鶴谷 優子

昨年は桜マラソンとアップルマラソンの10キロに挑戦しました。毎回、なんで申し込んでしまったのかとスタートラインに立った時に思うのですが、今年の桜マラソンも申し込んでしまいました。時間内に完走目指して頑張ります！



総務部主事
伊藤 舞

昨年は視察会に参加させていただき、初めて九州に足を踏み入れました。九州も美味しい食べ物がたくさんあり、いつかは九州全県制覇したいなと思えました。

今年も毎日の仕事に向き合いながら、残り少ない20代を楽しみたいと思います。



総務部主事
葛西 友紀

昨年は無事双子を出産し、眠気と闘いながらも賑やかで充実した

年でした。今年には育児、仕事を両立させ、昨年行けなかった小旅行へ行きたいです。



業務部書記
堀内 大暉

昨年の大厄で降りかかった悲劇に恐怖を覚えたからか、12月に東京へ研修に行った際、靖国神社に寄り、引き寄せられるように神札を大小合わせて2体受けさせていただきました。何か起こりそうな予感ですが、また1年頑張つていこうと思います。



業務部書記
後藤 康生

今年度より正職員となりました後藤と申します。よろしくお願ひします。

2023年は新しいことばかりであつたという年の1年でした。2024年は作業をもっと効率よくできるような日々精進していきたいと思ひます。仕事だけでなくプライベートも充実した1年にしていきたいです。



郵便局パート
齋藤 誠治

青森間屋町郵便局に勤務してから1年が過ぎました。

仕事の流れもようやくつかめてきた感じがあります。ただ、昨年10月から開始したインボイス制度により仕事の量もかなり増えてきました。引き続き、お客様にご迷惑のかからないよう努力してまいります。



間屋町交流ストアパート
成田 あすか

昨年は新型コロナウイルスが5類に移行したとはいえ、まだまだ仕事柄自粛を継続していましたが、東京の友達からいい加減(飼ってる猫に)顔を見せに来い！と言われていたので、今年は1回くらい友達(と猫)に会いに行ければと思います。



間屋町交流ストアパート
門間 由紀子

昨年は100日ウォーキング参加をきっかけに終了後も毎日歩くようになりました。万歩計の数字を毎日見るのが楽しくなり、今年もウォーキングを続けていきたいと思っています。



青森間屋町配送係業務部長
佐藤 博善

昨年は組合員の皆様をはじめ多くの方々にお世話になり、誠にありがとうございました。

弊社は、今年の4月から始まる世間でも騒がれている『2024年問題』をどの様にするかで、業界各社と共に頭を悩ませている所ではありますが、お客様へのご理解とご協力をお願いしながら取り組んでまいります。

最後に、2024年(令和6年辰年)が皆様にとって良い年でありますよう祈念いたします。

本年もよろしくお願ひ致します。



2023年問屋町10大ニュース

①柳谷新理事長を選任



4月に西理事長が青森市長選出馬のために退任を表明。
5月に開催された第2回理事会において柳谷副理事長が
新理事長に選任された。



②マエダストア問屋町店 オープン

組合員の㈱マエダが団地内に「マエダストア問屋町店」を9月にオープンさせた。
同スーパーは売場面積300坪ほどの中型店舗で、開店以来、組合員従業員や地域住民が訪れ、問屋町に新たな賑わいを見せている。



③QOL健診を初開催

2月に問屋町会館においてQOL健診を初開催した。
QOL健診は弘前大学が開発した即日2時間で測定・結果通知・健康教育までを完成させる健診プログラム。当健診は組合員従業員ら78名が受診した。



④青森田中学園と 連携協定締結

組合と青森中央学院大学などを運営する学校法人青森田中学園は、9月に人材育成や地域課題に向け密接に協力していくための連携協定を締結した。
締結式では、柳谷理事長と青森田中学園の石田理事長が協定書を交わした。



⑤乾電池共同回収に 実験的に取り組む

今年度、組合が実験事業として取り組む乾電池共同回収の1回目が9月に行われた。
組合員が使用済み乾電池を問屋町会館に持ち込み、43社から250kgもの乾電池が回収された。



⑥問屋町納涼パーティーを 4年ぶりに開催

7月に、コロナ禍で休止していた問屋町の夏の人気イベント「問屋町納涼パーティー」が4年ぶりに開催され、組合員企業の従業員やその家族317名が参加した。



⑦安協問屋町支部が 創立50周年を迎える

4月に創立50周年記念式典を開催したほか、交通遺児への寄付や近隣小学校への交通安全グッズの寄贈、中央IC前での交通安全街頭指導等を実施した。



⑧問屋町SDGs標語 コンクールを開催

「問屋町SDGs標語コンクール」を初開催し69人から123点の応募があった。
最優秀賞の標語は「多様性 認めて伸ばそう 可能性」で、リコージャパン(株)の坂本建光氏が受賞した。



⑨問屋町災害時連絡ガイドを 作成・配付

大規模地震が発生した際の連絡手段や情報収集手段、避難経路などについてまとめた災害時連絡ガイドを作成し、全組合員に配付した。社内に見える場所に掲示してもらえるようポスターサイズで作成した。



同友会 河田会長

青友会 坪谷会長

⑩同友会・青友会共に 新会長を選任

青森問屋町経営同友会では5月に任期満了に伴う役員改選を行い、河田副会長が新会長に選ばれた。また、問屋町支店長・所長連絡会(青友会)では、6月の定時総会にて坪谷副会長を新会長に選任した。